

平成18年2月13日
原子力安全対策課
(17-107)
<10時30分記者発表>

送電系統への落雷による敦賀発電所2号機の所内単独運転について

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力116万kW）は定格熱出力一定運転中のところ、敦賀2号機から送電している送電系統（500kV原電敦賀線）に落雷があり、2月11日23時49分、原子炉出力約35%で所内単独運転*に移行した。

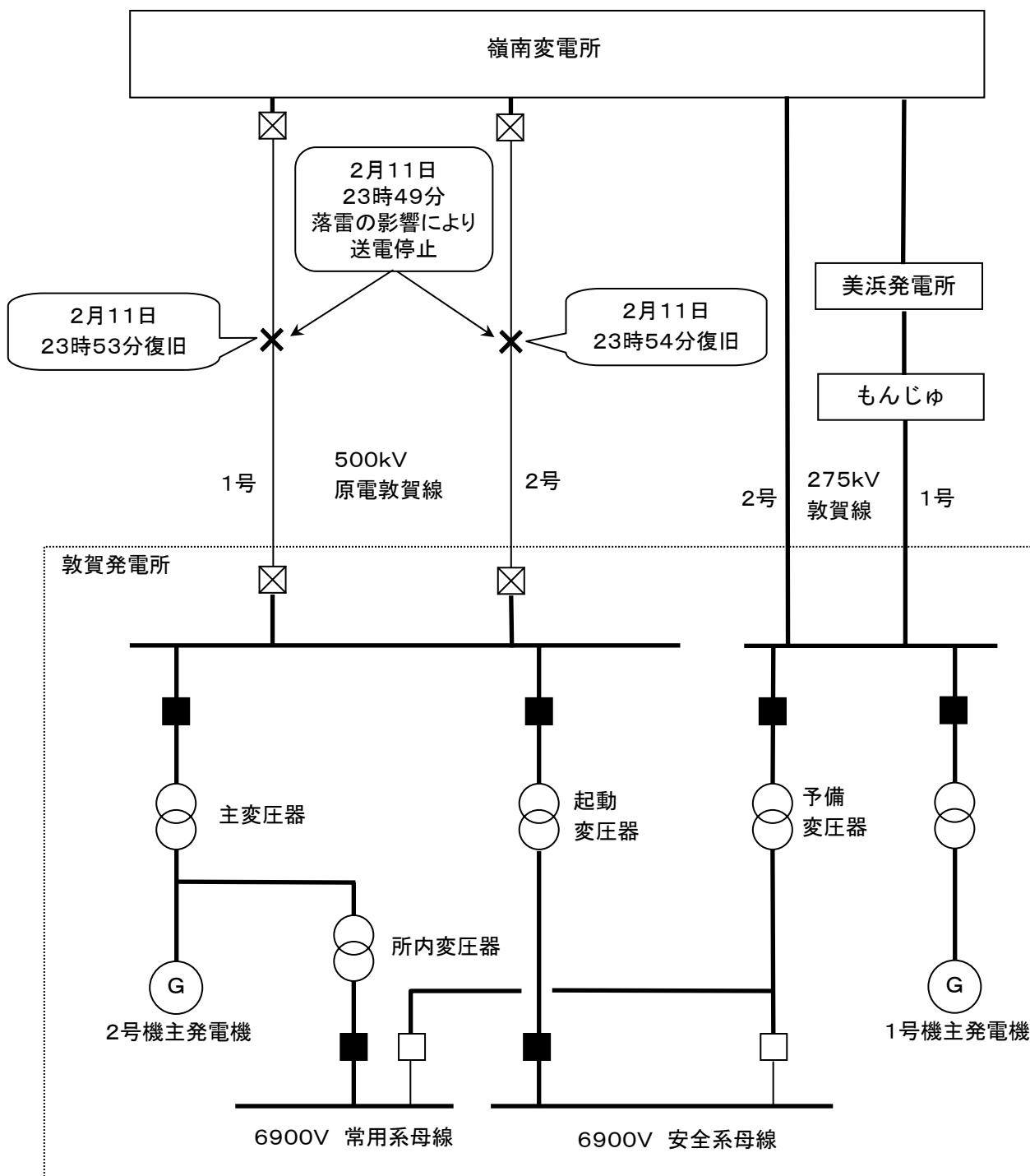
その後、23時53分に送電系統が復旧したことから、2月12日1時12分に電気出力約4%にて送電を開始し、計画的に出力を上昇し2月13日昼頃に定格熱出力一定運転に復帰する予定である。

なお、本事象による環境への放射能の影響はない。

*：送電系統事故等により送電できなくなった場合に、発電機出力を低下させて発電所内の負荷のみを持たせた運転。具体的には負荷急減時に蒸気を復水器へ逃がすなどして、原子炉トリップを回避する。

問い合わせ先(担当：熊谷)
内線2353・直通0776(20)0314

送電系統状況図（事象発生時の状況）



- ☒ シヤ断器投入→開放状態
- シヤ断器投入状態
- シヤ断器開放状態
- 充電ライン